

イセ食品株式会社

東京都千代田区

需要獲得
ものづくり

鶏卵生産から派生する技術を活用した事業展開 環境、地域、文化、災害等幅広い貢献活動にも注力

1912年の創業より鶏卵の販売や加工卵の製造などを行い、国内シェア13%を占める鶏卵業界の最大手である。さらに積極的な海外事業展開を行い大きな柱となっている。鶏卵業界で第1号となる農場HACCP認証取得(イセファーム東北(株)色麻農場、(有)つくばファーム)、健康増進に役立つ卵の研究を目的とした、イセたまご研究所の設立、採卵鶏の生産性と鶏卵の品質向上を目指す東京大学との共同研究など、高い品質実現と技術開発への継続的取組を行い、高い生産性とブランド力、販売力を有する。

所在地 東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館8階
電話/FAX 03-6758-6922 / 03-6551-2432
URL <https://www.ise-egg.co.jp/>
代表者 代表取締役社長 田中 保成

設立 1971年
資本金 2,000万円
従業員数 760人



多角的技術による製品展開と、イセグループの一貫管理による徹底した品質管理

EPA・DHAを一般的な卵の3倍以上含み、中性脂肪値低下が期待できる日本初の機能性表示食品卵「機能性 伊勢の卵」を開発。同社のイセインテグレーションシステムでは、卵の生産管理、選別包装、配送までを包括管理することで、安全性確保、スピード配送、効率性追求を同時に実現し、安定した高品質を維持。鶏卵生産世界記録の樹立など生産性向上に力を入れ、「森のたまご」は国内ブランド卵販売数1位※に輝く等ブランド力強化も図っている。

※同社・2020年4月～翌3月KSP-POSデータに基づく



「機能性 伊勢の卵」と「森のたまご」

先進的技術の輸出と現地生産で、日本畜産業の持続的成長を目指す

1980年にISE AMERICA, INC.を設立したのち海外事業を拡大し、現在、海外4極(米国・中国・アセアン・インド)で、鶏卵生産事業の現地化に取り組んでいる。海外生産羽数は800万羽で、同社の鶏卵生産総羽数2,100万羽の約25%を占めている。今後、アセアン・中国でのさらなる事業拡大とインドでの新規農場建設で、2030年には、海外生産能力2,000万羽を持つ鶏卵製品のグローバル・フード・バリューチェーン企業体を目指している。



世界に広がるネットワーク

環境や地域、文化、災害などに向けた幅広い貢献活動

同社は環境に配慮した事業運営を行うため、石川県七尾市に北陸地方有数の太陽光発電所を運転開始した他、養鶏場や加工場の屋根上を利用した再生可能エネルギー事業に取り組んでいる。福島県川俣町のはやま農場は、東日本大震災により採卵事業を休止したが、同県田村市の土地を地元と一体となり、3年かけ山と崖を一から整備し稼働再開した。健康な若雌の市場供給に加え雇用創出の点でも貢献している。他にも国立博物館施設の命名権獲得、Jリーグ・カタール・富山への育成支援など、幅広い貢献活動を行っている。



石川県七尾市の太陽光発電所

需要獲得

ものづくり